

長岡市の原子力安全対策の取り組み

～市町村による原子力安全対策に関する研究会を中心として～

平成24年11月

長岡市原子力安全対策室

1

長岡市の基本的な考え方

大切にしたい理念・・・

- 長岡市は、国・県・原子力発電事業者が、2度と福島のような過酷事故を起こさないよう、徹底した安全対策を講ずるべきであり、これを求め続ける。
- しかし、万々がーの場合を考え、市としては原子力安全対策を講ずるものとする。

ポイント

- 福島事故を踏まえ、国が原子力防災対策のエリアを原発から30km圏域に拡大したことにより、長岡市も新たにこのエリアに含まれることになった。
- 平成23年9月9日に部級の臨時的組織として「原子力安全対策室」を設置

2

研究会設立の背景

柏崎刈羽原発の安全性を確保することが最重要の課題

国や県が出す見解をそしゃくし判断できる実力を備える必要がある

原子力防災は専門性が高く、自治体が単独かつ短時間で体制を整備していくことは困難

市民生活の安全・安心を目指し、市民に一番近い市町村が連携し、原子力安全対策に関する研究をすべきではないか？

「市町村による原子力安全対策に関する研究会」の設立

代表幹事：森 民夫 長岡市長

ポイント

- 長岡、新潟、上越の3市が共同で設立
- 徐々に自主的に参加自治体が拡大し、現在は県内全30市町村で構成

3



3市で共同設立(平成23年9月12日)



県素案に意見書を提出(平成23年12月16日)



第5回研究会の様子(平成24年2月9日)



福島市の瀬戸孝則市長を招き、原発災害対応について説明を受ける(平成24年6月9日)

4

8つの研究テーマ

研究テーマ	担当幹事
①原発の安全性について	◎長岡市、柏崎市(アドバイザー)
②安全協定について	◎上越市、燕市
③EPZ及び避難計画について	◎三条市、小千谷市、長岡市
④安定ヨウ素剤について	◎見附市、佐渡市
⑤土壌汚染対策について	◎十日町市
⑥浄水場などの汚泥対策について	◎新潟市、阿賀野市
⑦堆肥対策について	◎胎内市、佐渡市、長岡市
⑧県外原発とのかかわり方について	◎糸魚川市



原発の安全対策の確認のため、柏崎刈羽原発を視察し、説明を受ける(平成23年11月30日)

※ ◎は、担当幹事の代表

ポイント

- 第4回研究会では、担当幹事から研究成果の中間報告
- 各分科会において、関係職員を対象にした勉強会を開催
- 平成24年4月から、9つ目の研究テーマとして、「実効性のある避難計画」を追加

5

要望書の提出

これまでの研究成果から…

- 原発の安全確保及び実効性のある防災体制の確立には、国・県による対策が不可欠
- 国、県、市町村の役割分担と責任を明確することが重要



- 福島原発事故の検証に基づき、新たな法整備等を含め、国・県に万全の対策を講じるよう強く要請



細野環境大臣に要望書を提出(平成23年12月26日)



新潟県知事に要望書を提出(平成24年1月16日)

6

東京電力(株)と通報連絡協定を締結

- ・ 市町村研究会において研究テーマの一つとして検討を進めてきたもの
- ・ 安全協定を結ぶ柏崎市・刈羽村を除く28市町村が締結

ポイント

- 都道府県内の市町村がまとめて協定を結ぶのは、**全国初の取り組み**
- 県を経由せずに直接詳しい情報が県内全ての市町村に届く



28市町村が東京電力と協定を締結(平成24年2月9日)

7

ワーキンググループの設置

ポイント

- 市町村と県が連携して、真に実効性のある原子力安全対策を構築することが目的
- メンバーは、市町村研究会と新潟県の実務担当者
- 実効性のある避難計画について[報告](案)を作成し、第5回研究会で報告



第2回ワーキンググループ(平成24年1月18日)

- ・ 第5回研究会(平成24年2月9日)での承認を経て、報告が取りまとまる。
- ・ **主な特徴は、県と市町村の役割分担を整理したこと。**

8

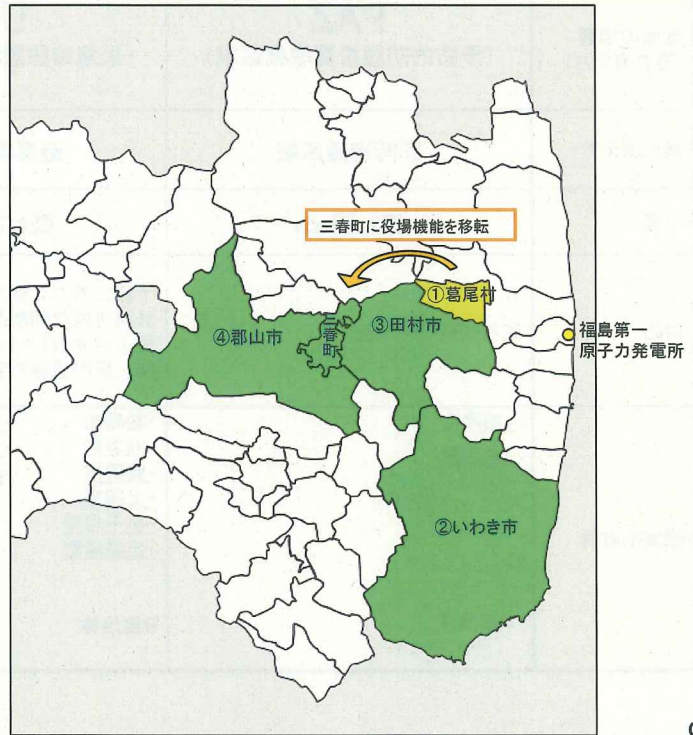
実務担当者による福島現地視察

ポイント

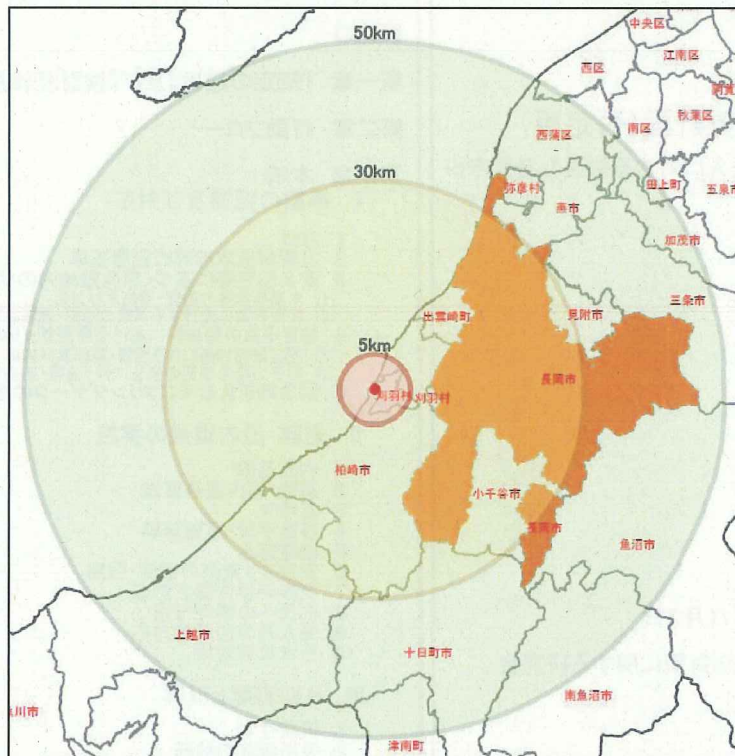
- 福島県内の市町村職員から、原子力災害時の対応を聞き、避難計画作成の参考とすることが目的
- 葛尾村(移転先の三春町)、いわき市、田村市、郡山市の4市村を視察
- 市町村と県の実務担当者のべ36人が参加



いわき市から、市内の空間放射線量の状況について説明を受ける(平成24年5月18日)



柏崎刈羽原子力発電所の周辺市町村



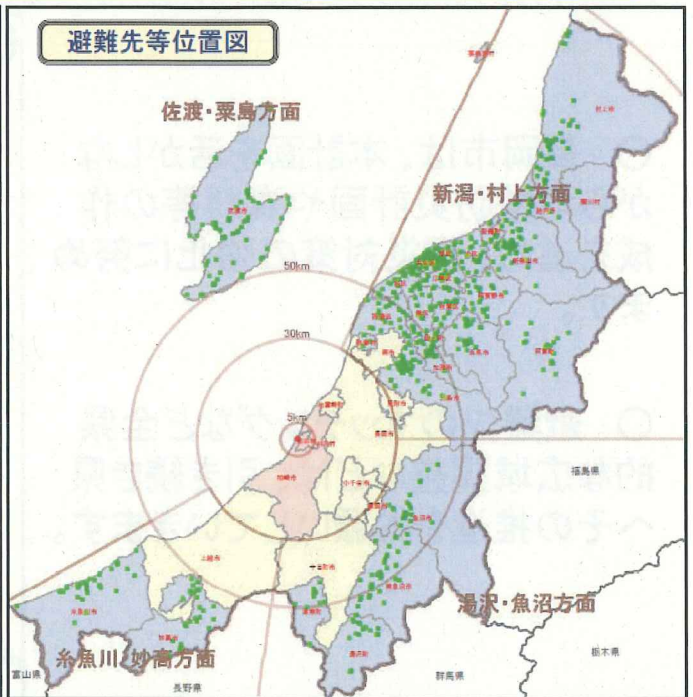
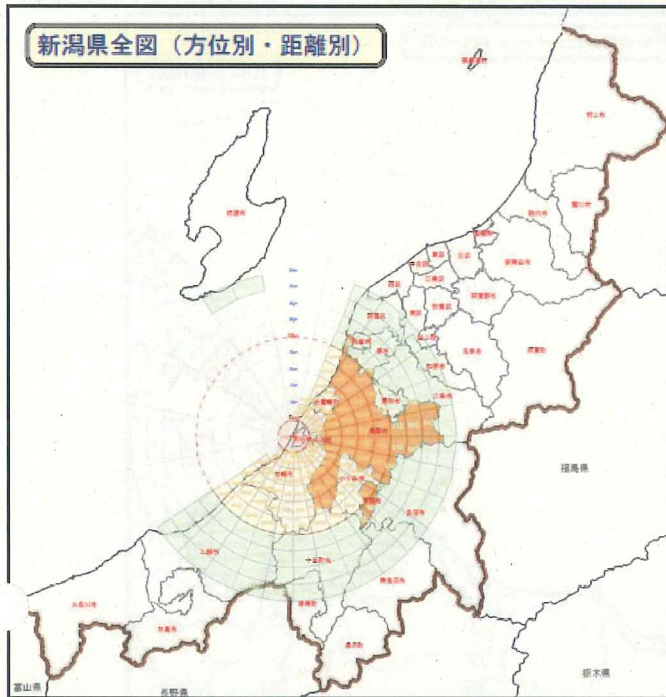
過酷事故時の避難等の対応

区域の種類 (国の考え方)	PAZ (予防的防護措置準備区域)	UPZ (緊急時防護措置準備区域)	PPA (ブルーム防護措置実施地域)
県の考え方	即時避難区域	避難準備区域	屋内退避計画地域
半径	概ね5km	概ね30km	概ね50km
対応	直ちに避難を実施する。	予測に基づく意思決定ではなく、計測可能な判断基準であるOIL（運用上の介入レベル）に基づき、避難、屋内退避を実施する。	甲状腺被ばくを回避するため、屋内退避、安定ヨウ素剤の服用等の防護措置を実施する。
圏域市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・柏崎市 ・刈羽村 <p>2自治体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏崎市 ・刈羽村 ・長岡市 ・上越市 ・小千谷市 ・出雲崎町 <p>9自治体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十日町市 ・見附市 ・燕市 <ul style="list-style-type: none"> ・柏崎市 ・刈羽村 ・長岡市 ・上越市 ・小千谷市 ・出雲崎町 <ul style="list-style-type: none"> ・十日町市 ・見附市 ・燕市 ・新潟市 ・弥彦村 ・田上町 <ul style="list-style-type: none"> ・加茂市 ・三条市 ・魚沼市 ・南魚沼市 ・津南町 ・妙高市 ・佐渡市 <p>19自治体</p>

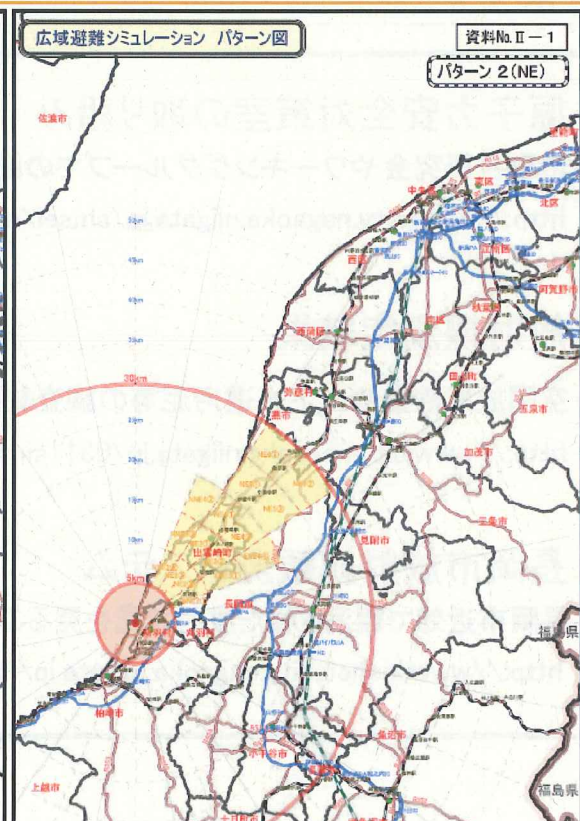
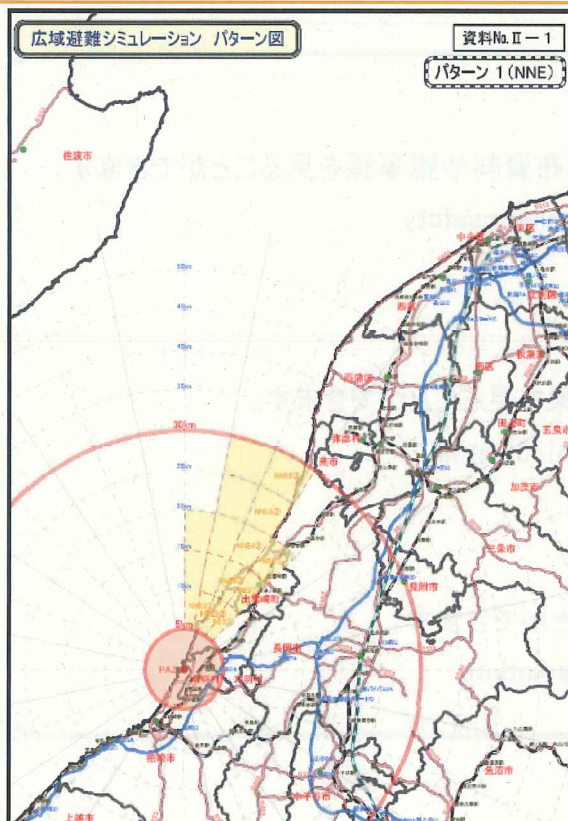
実効性のある避難計画(暫定版)

<p>実効性のある避難計画(暫定版) ～避難・屋内退避・避難者受入に対する共通の考え方～</p> <p>平成24年11月2日</p> <p>市町村による原子力安全対策に関する研究会</p>	<p>《目次》</p> <p>第一章 『策定の趣旨』及び『検討経緯』</p> <p>第二章 行動フロー</p> <p>第三章 本編</p> <p style="padding-left: 20px;">I 事態の把握及び対応</p> <p style="padding-left: 40px;">1 方針</p> <p style="padding-left: 40px;">2 災害対策本部等の設置基準</p> <p style="padding-left: 40px;">3 安全協定等に基づく原発敷地内の状況把握及び対応</p> <p style="padding-left: 60px;">(1) 未済事象等の通報・連絡及び対応</p> <p style="padding-left: 60px;">(2) 特定事象に先行する事象の通報・連絡及び対応</p> <p style="padding-left: 40px;">4 特定事象の発生時における原発サイトの状況把握及び対応</p> <p style="padding-left: 60px;">(1) 原災法第10条に伴う通報・連絡及び対応</p> <p style="padding-left: 60px;">(2) 原子力緊急事態の発生に伴う通報・連絡及び対応</p> <p style="padding-left: 40px;">5 緊急時を含むモニタリングデータの把握</p> <p style="padding-left: 20px;">II 避難・屋内退避の実施</p> <p style="padding-left: 40px;">1 判断基準</p> <p style="padding-left: 40px;">2 避難・屋内退避区域</p> <p style="padding-left: 40px;">3 避難先</p> <p style="padding-left: 40px;">4 移動手段・避難誘導</p> <p style="padding-left: 40px;">5 避難指示</p> <p style="padding-left: 40px;">6 安定ヨウ素剤の配備・服用</p> <p style="padding-left: 40px;">7 災害時要援護者対応</p> <p style="padding-left: 40px;">8 住民への情報伝達</p> <p style="padding-left: 40px;">9 受入時の避難者対応</p> <p style="padding-left: 40px;">10 複合災害対策</p> <p style="padding-left: 20px;">III 長期避難と復興</p> <p style="padding-left: 40px;">1 仮設住宅</p> <p style="padding-left: 40px;">2 役所機能の移転</p>
---	---

全市町村共通の基礎データ(共有地図)



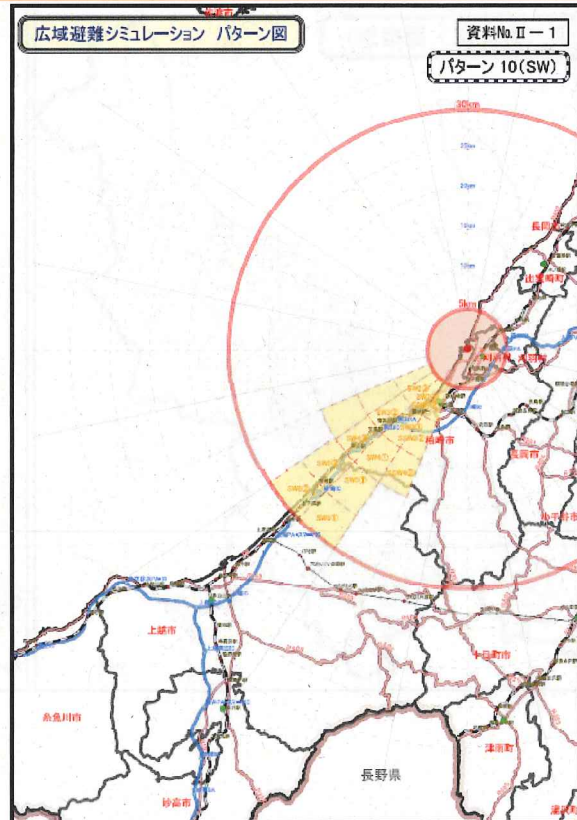
広域避難シミュレーション パターン図



今後について

○ 長岡市は、本計画を活かしながら地域防災計画や資料等の作成を進め、防災対策の強化に努めます。

○ 避難先のマッチングなど全県的な広域調整などは、引き続き県へその推進をお願いしていきます。



15

ホームページで、研究会の取り組み等をご覧いただくことができます。

○ 原子力安全対策室の取り組み

市町村研究会やワーキンググループでの配布資料や議事録を見ることができます。

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/nuclear-safety>

○ 放射線測定結果

空間放射線量や上下水道汚泥等の調査結果を見ることができます。

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/0311sinsai/02.html>

○ 長岡市放射線観測システム

長岡市近郊で観測された放射線量を見ることができます。

<http://www.kishou.city.nagaoka.niigata.jp/Radiation/>

16